



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

紀南高等学校

バドミントン部
編

「勝ちにこだわる」を目標に個性的な選手が集う

紀南高等学校

バドミントン部



スピード感のある試合の展開や流れがバドミントンの魅力です。

紀南高校バドミントン部は高校から始めた選手10人で活動。

頭の中で常に次の動きや相手のことを考えて取り組んでいます。

自分らしさを出し切れるよう、全員で日々の練習を頑張っています。

Q1 チームの魅力は？

A1 (福田さん)学校の部活紹介で一番面白そうだなと思って入部しました。個性的な面白いメンバーで部活動ができています。



キャプテン 福田 侑都さん (ふくだ ゆと)



(奥藤先生)

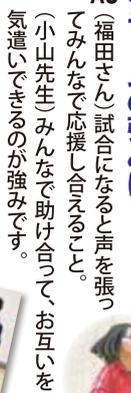
休み時間はぶさけあっていますが、いざ練習に入ると真剣。メリハリを持った明るくて個性が強い子たちばかりです。

Q2 キャプテンとして心がけていることは？

A2 (福田さん)練習中の声出しを、みんなができるようにしています。

A3 Q3 チームの強みは？

(福田さん)試合になると声を張ってみんなで応援し合えること。



(小山先生)みんなが助け合ってお互いを気遣いできるのが強みです。

Q4 現在の目標は？

A4 (奥藤先生)三重県高校体育連盟のバドミントン専門部は1部から3部まであります。5月の県総体で一人でも多く1部のトーナメントで戦えるようになってほしい。

(福田さん)チーム全体として一つでも多く勝ち取る。個人的には1部にあることです。

A5 Q5 今のチームの課題は？

(福田さん)休みがちになるので、できる限り練習のある日は部活に出ることです。

(小山先生)一人一人の集中力を高めること。気持ちが切れてしまつて部活に来れなくなつてしまつてしまうことが課題です。

(奥藤先生)高校になつてバドミントンを始めた選手ばかりで、自信が持てないこと。あとは自分自身を客観的に見られるように、心身ともにもう少し強くなれると感じます。



二次元コードを読み取るとバドミントン部のコメントが見られます。



Q6 どんなことを意識して練習していますか？

A6 (小山先生)バドミントンがうまくなることはメインですがそれは過程であつて、最終的には礼儀や仲間意識も育んでほしい。ペアや相手が必要であるなど自分一人ではできないスポーツですので、自分のことだけでなく周りを見るところという視点を、競技を通して持つてくればらなと思います。

Q7 部活動を通して取り組んでいきたいことは？

A7 (奥藤先生)高校になつて始めた部活だからこそ、最後までやり遂げて、継続する力や大切さを、バドミントンというスポーツを通して身につけてほしいです。



顧問 奥藤 達万先生



顧問 小山 桜花先生



高校になつてバドミントンを始めた選手ばかりで、自信が持てないこと。あとは自分自身を客観的に見られるように、心身ともにもう少し強くなれると感じます。